

# 「遮光眼鏡」をご存じですか？

◎こんな症状でお困りではないですか？

- ☑太陽、蛍光灯、パソコンの画面、車のライトなどがまぶしい、チラチラする。
- ☑視界が白くかすむ



「遮光眼鏡」で解消できるかもしれません！



## 遮光眼鏡とは…

まぶしさの要因となる波長の光（紫外線+青色光線）を効果的にカットするカラーレンズで、まぶしさの軽減、コントラストの改善（明暗の差が強くなることで物の輪郭などがはっきりする）効果があります。

サングラスは全体的に光をカットするのに対し、遮光眼鏡はまぶしさの要因となる光を選択的にカットするため、暗くなりすぎず比較的明るく見ることが特徴です。

まぶしさを感じる方に有用とされています。

遮光眼鏡には様々な色の種類がありますが、同じ疾患の方でも、まぶしさの度合いや見え方などによって一人ひとり合う色は異なります。



★眩しさを感じる場面にできるだけ近い環境で、自分にはどの色が合うのかを試すことが大切です。

### 【フレームの種類】

#### ①跳ね上げタイプ

眼鏡の上にクリップで装着するタイプ。  
跳ね上げができるため、掛け外しに便利。



#### ②オーバーグラスタイプ

眼鏡の上から装用することもできるタイプ。お顔にフィットする設計で、正面以外から入る光も軽減できる。



#### ③その他

遮光眼鏡専用フレームでも市販の眼鏡フレームでも作成可能なタイプ。度数を入れて作成することも可能。



## 遮光眼鏡(補装具)支給制度

下記に該当する方で、遮光眼鏡によりまぶしさなどの症状が軽減すると主治医が認めた場合は、補装具として支給を受けることができます。

- ・視覚障害で身体障害者手帳をお持ちの方
- ・難病(障害者総合支援法対象疾病)の方で、状態が悪い時など、視機能が障害者手帳相当となる方

★詳細につきましては、一度お住まいの地域の役所(障害福祉を担当している課)にお問合せください。

### 【補装具申請の流れ】

- ①役所(障害福祉を担当している課)で補装具費支給意見書の用紙をもらい、主治医(指定医)に作成を依頼  
(度数を入れて作成する場合は処方箋も必要になります。)
- ②補装具取扱眼鏡店で見積書作成を依頼
- ③意見書、(処方箋)、見積書を役所に提出
- ④役所から支給券が届いたら眼鏡店で眼鏡を作成

- ※・支給券発行までに2~3か月かかることがあります。
- ・申請は通常屋外用、屋内用2つの申請枠がありますが、それぞれにつき1回申請すると原則4年間は再申請することができません。
  - ・支給金額には上限があります。また、課税状況により費用の一部負担、または所得制限により全額負担となる場合もあります。

遮光眼鏡の体験、選定をご希望の場合は、まずは通院先の眼科、近隣の眼鏡店でご相談ください。

上記で遮光眼鏡を扱っておられないなど、お困りの際はいつでも「京都ロービジョンネットワーク」にご相談ください。



### ご連絡先

京都ロービジョンネットワーク総合相談窓口  
(社会福祉法人 京都ライトハウス内)

TEL : 075-462-4400

月~金曜日 9:00~17:00

★ご相談は無料です。



「京都ロービジョンネットワーク」では、見えにくい・見えないことでお困りの方のご相談をお受けしています。

障害者手帳の有無は問いません。お気軽にご相談ください。

【構成団体】京都府眼科医会、  
京都ライトハウス、  
京都府視覚障害者協会 他

【協力機関】京都府、京都市

発行：2022年11月

京都ロービジョンネットワーク